SecureDoc for Windows

Version 9.1

スタンドアロン版
クイックインストールガイド

WinMagic SecureDoc

2024 年 2 月

本ガイドの目的

本ガイドは、SecureDoc スタンドアロン版をインストールしてデバイスを暗号化するための手順を説明するものです。SecureDoc インストール後の各設定項目などについては「SecureDoc for Windows Version 9.1 リファレンスマニュアル」をご参照ください。

使用頻度の低い機能については割愛しておりますので、予めご了承ください。

SecureDoc for Windows Veriosn 9.1

スタンドアロン版 クイックインストールガイド

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

連絡先

WinMagic Inc. （カナダ本社）

200 Matheson Blvd West, Suite 201
Mississauga, Ontario, L5R 3L7
フリーダイヤル： 1-888-879-5879　電話 : (905) 502-7000　Fax : (905) 502-7001
テクニカルサポート : support@winmagic.com

ウィンマジック・ジャパン株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸 1-2-3　汐留芝離宮ビルディング 21 階
電話 : 03-5403-6950　Fax : 03-5403-6953
営業 : sales.jp@winmagic.com
テクニカルサポート： support.jp@winmagic.com
URL : https://www.winmagic.co.jp/
https://winmagic.com/ja/home-jp/　(グローバル)

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

更新履歴

日　付	バージョン	更新内容
2024 年 2 月	v9.1 初版	

ご注意

本ガイドに記載されている情報は、著作権によって保護されています。
本ガイドの一部または全部を、WinMagic Inc.の事前の許可なく転載、引用することを禁じます。
本ガイドの内容、本ガイドに記載されている機能は予告なく変更される場合があります。
最新の情報については、ウィンマジックにお問い合わせいただくか、ウィンマジックのホームページをご覧ください。
また、本ガイドでは、環境として Microsoft Windows 10 を使用しておりますが、お客様が使用する製品バージョンと異なる場合、画面イメージや操作手順が異なる場合がありますので、予めご了承ください。

WinMagic、SecureDoc、SecureDoc Enterprise Server、Compartmental SecureDoc、SecureDoc PDA、SecureDoc Personal Edition、SecureDoc RME、SecureDoc Removable Media Encryption、SecureDoc Media Viewer、SecureDoc Express、SecureDoc for Mac、MySecureDoc、MySecureDoc Personal Edition Plus、MySecureDoc Media、PBConnex および SecureDoc Central Database は、米国およびその他の国で登録されている WinMagic Inc. の商標および登録商標です。文中に記載されているその他の社名および製品名は、全て各社の所有権に属します。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

目 次

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

1. はじめに

本ガイドは、WinMagic SecureDoc スタンドアロン版のインストール及びディスクの暗号化方法について説明します。インストーラーを実行すると、「キーマネージャー」と「SecureDoc コントロールセンター」がインストールされます。「SecureDoc コントロールセンター」については、「SecureDoc for Windows Version 9.1 リファレンスマニュアル」をご参照ください。

1.1 インストール実行前の注意事項

以下の内容を確認してから、実行してください。

☐ BitLocker の設定を確認してください。

BitLocker が有効になっていると、インストールは失敗します。

☐ TCG Opal（自己暗号化）ディスクの場合、「HDD パスワード」あるいは「SID」を設定していないこと

HDD パスワードあるいは Block SID が設定されていると、Opal として動作させるためのアクティベートをすることができません。SecureDoc のブートログオンプログラム（プリブート認証）をインストールすることができず、SecureDoc のインストールは失敗します。

☐ PC の時計を正確にあわせてください。

SecureDoc インストール後、日付と時刻の変更操作は、不正な行為として扱われ、キーファイルはロックされます。（海外との時差は考慮されています）

☐ 使用中の PC を暗号化する場合、SecureDoc のインストール前にデータをバックアップし、デフラグとチェックディスクを実行することを強く推奨します。

☐ スリープ、休止の設定について

暗号化中、電源管理によって PC（HDD/SSD）が停止しないようにしてください。

SecureDoc インストール後もスリープは推奨されません。SecureDoc でディスクを暗号化すると、Windows 起動前にブートログオンプログラムが起動し、プリブート認証での復号化が必要になります。認証に成功すると、復号化に必要な鍵をメモリ上にロードします。スリープの状態は、鍵がメモリ上にロードされたままですので、セキュリティを保つうえで望ましくありません。

☐ インストールする PC のディスク空き容量の確認

10% 程度の空き容量があることを確認してください。空き容量が足りないと暗号化に失敗する場合があります。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

1.2 制限事項

☐ ID/パスワードには、**円マーク** と **バックスラッシュ** を利用できません。

☐ ブートログオンを使ったプリブート認証で、**円マーク** と **バックスラッシュ** は入力できません。

☐ UEFI デバイスの場合は、**_（アンダーバー）**もご利用になれません。

☐ SecureDoc をインストール後、UEFI / BIOS の日付と時刻は、正しく保つようにしてください。
通常、UEFI / BIOS の日付と時刻は、Windows の設定と同期していますが、デバイスの時刻設定（UEFI/BIOS）が時差を超えて変更された場合、不正な行為としてみなされ、キーファイルをロックします。海外渡航を考慮していますので、大幅に時刻設定を変更しなければ、ロックされることはありません。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

2. SecureDoc のインストール

手順：

① 「SecureDoc_x64_9.1**.exe」を Windows の管理者権限で実行してください。ファイル名は、サービスリリース（SR1 等）のバージョンにより異なります。

ユーザーアカウント制御の機能で、「このデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示された場合、<はい>をクリックして進めてください。

SecureDoc は複数の言語に対応していますので、インストールする言語を選択します。

② インストールウィザードが起動します。開始するには <次へ> をクリックします。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

③ 「ライセンス契約」画面で、使用条件を確認します。

インストールを続行するには、ライセンス契約に同意する必要があります。

続行する場合は、「使用許諾契約条項に同意します」を選択して「次へ」をクリックします

④ 「制限事項（重要）」画面で、制限事項を確認します。

インストールを続行するには、「制限事項の内容を了承します」を選択して、<次へ> をクリックします。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

⑤ 必要な情報を「お客様情報」画面で入力し、<次へ> をクリックして操作を続行します。

⑥ 「送り先フォルダ」画面で、インストールするフォルダを指定します。
変更する場合は、<変更> をクリックしてフォルダを指定します。ほとんどのインストールでは、デフォルト値が適しています。インストールを続行するには、<次へ> をクリックしてください。

⑦ ここまでで、インストールの準備ができました。続行するには、<インストール> をクリックします。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

⑧ インストールに成功すると、「InstallShield ウィザードを完了しました」画面が表示されます。
<完了> をクリックします。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

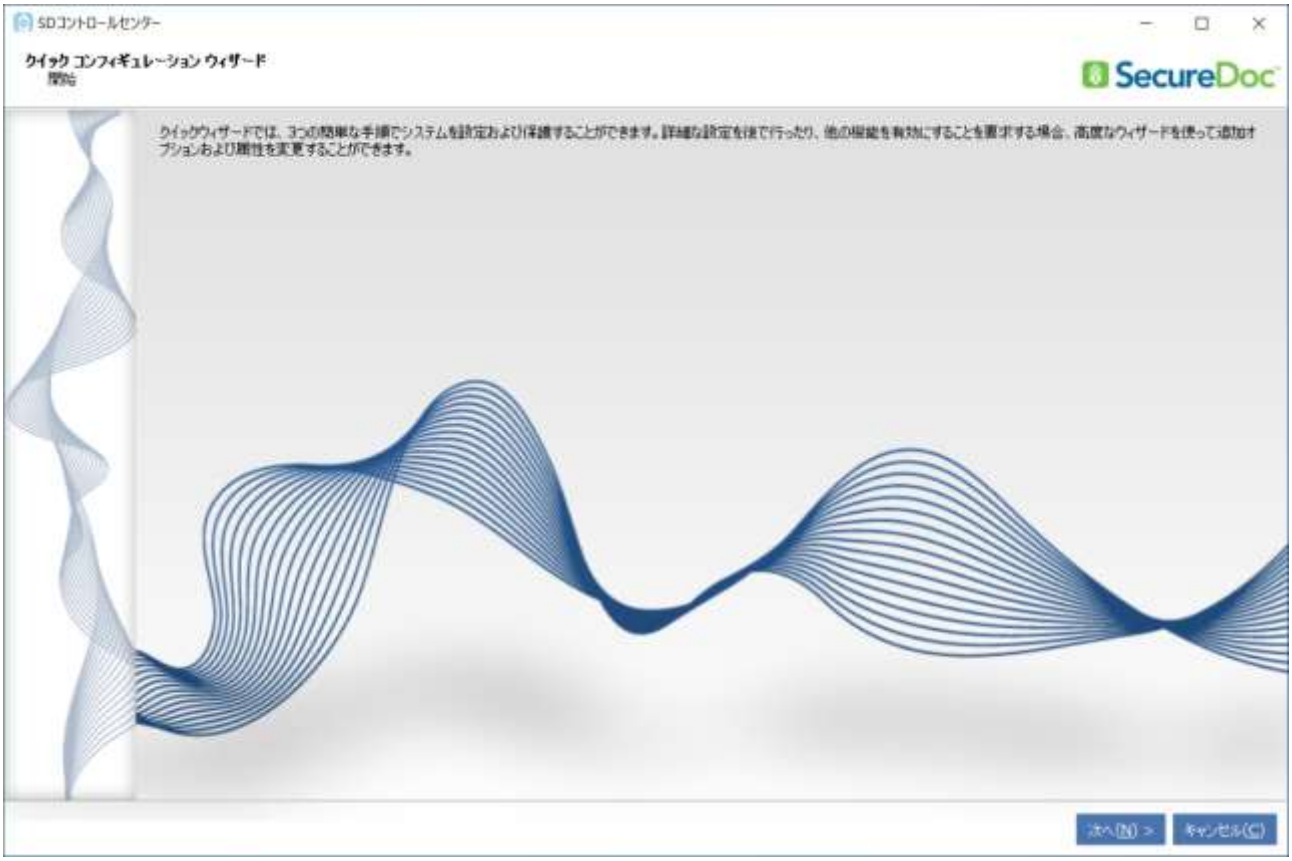
⑨ SecureDoc コントロールセンターが起動します。

<はじめに> をクリックします。

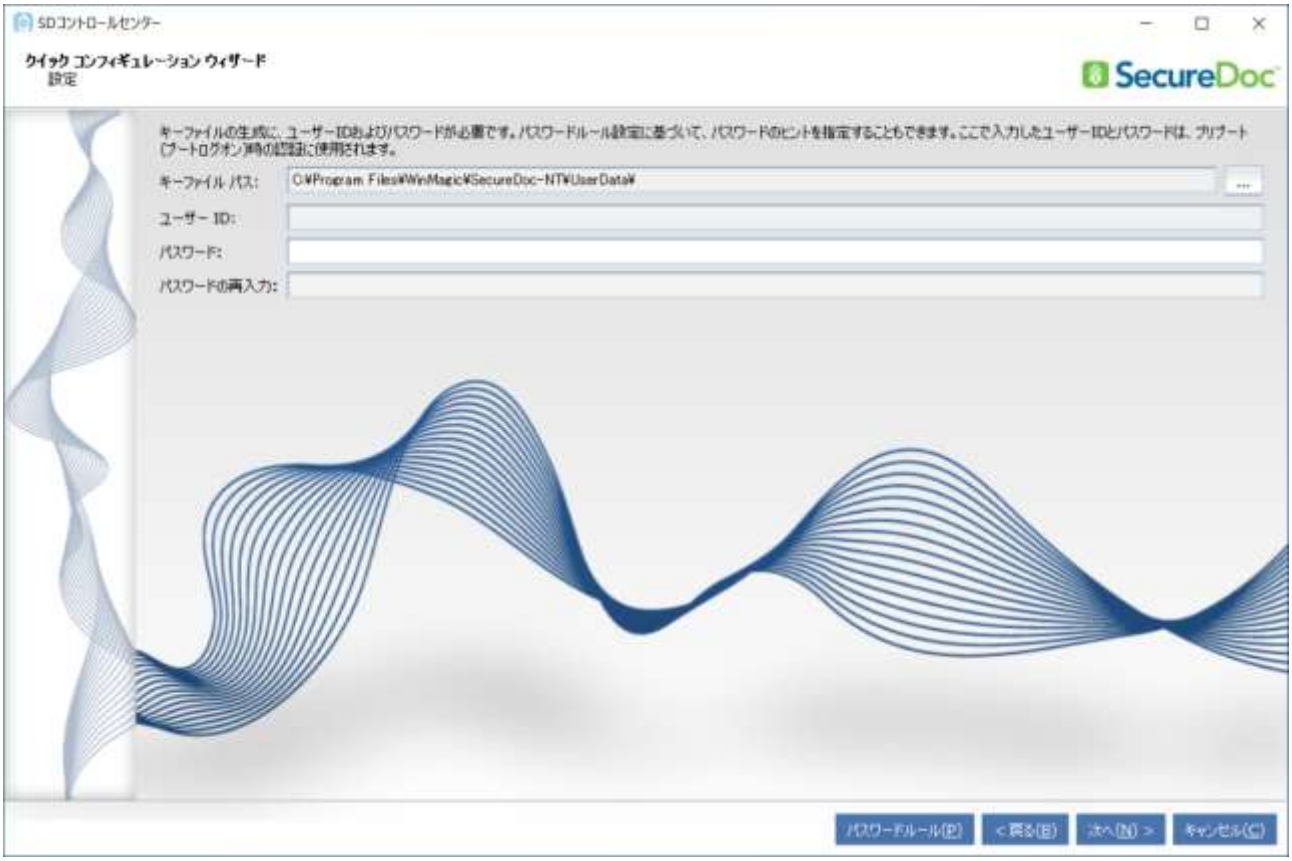
⑩ 「タスクのダッシュボード」画面が表示されるので、<クイックウィザード> をクリックします。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

⑪ 「クイックコンフィギュレーションウィザード」の開始画面が表示されるので、<次へ> をクリックします。



⑫ 設定画面が表示されます。



© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

「キーファイルパス：」のフィールドで、キーファイル名と保存先を指定します。

初期設定の保存先フォルダ：C:¥Program Files¥WinMagic¥SecureDoc-NT¥UserData¥

拡張子 .dbk をつけて、入力してください。

例）　C:¥Program Files¥WinMagic¥SecureDoc-NT¥UserData¥tanaka.dbk

キーファイル入力後、「ユーザーID:」に移動すると、キーファイル名がユーザーID として、自動で入力されます。

パスワードルールに従い、「パスワード:」、「パスワードの再入力：」のフィールドで、パスワードを入力します。

パスワードのルールは、<パスワードルール> をクリックして設定します。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

パスワードルール

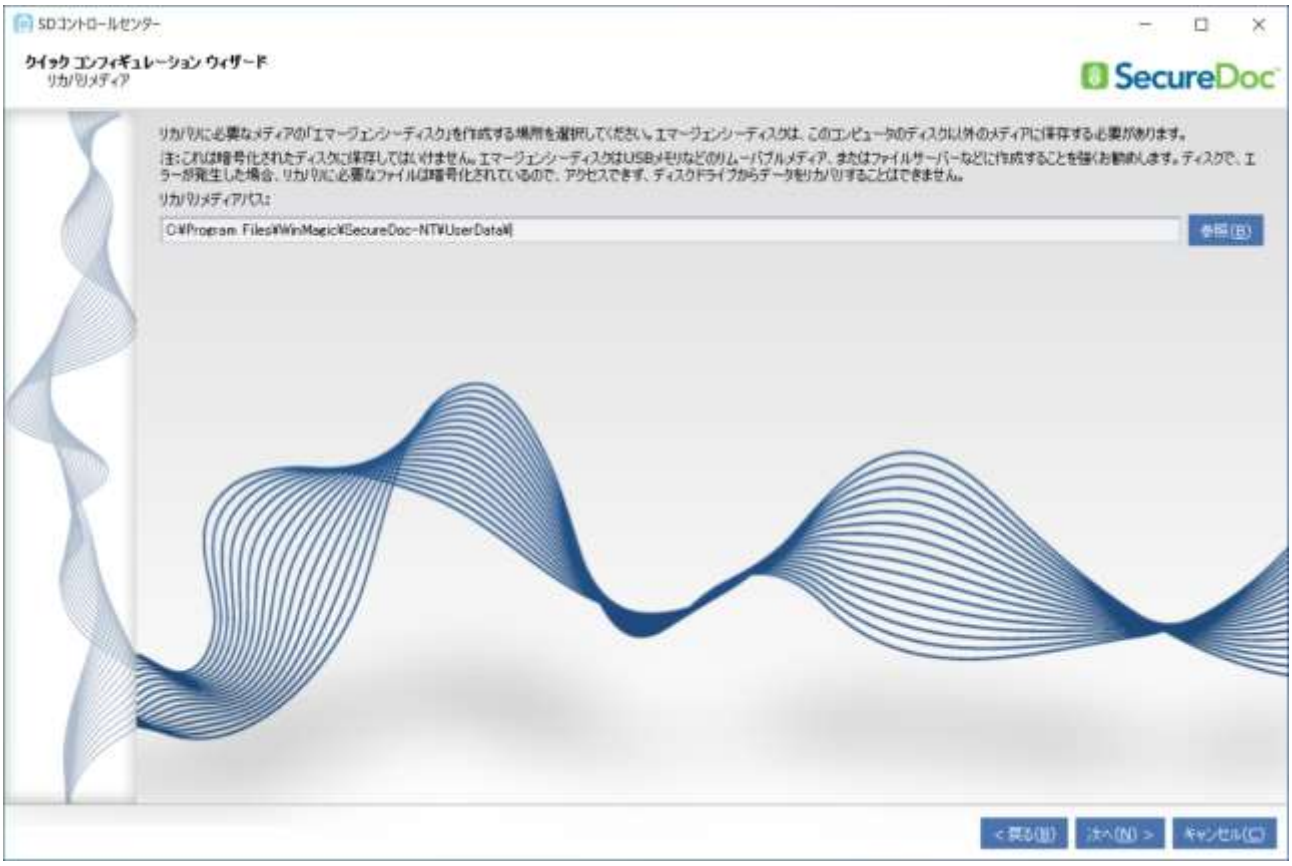
項　目	説　明
最小文字数：	パスワードに使用する最小文字数と文字の種類を指定します。
X 文字	最小文字数を指定します。初期設定は「8」文字です。
X 大文字	パスワードに含める大文字の最小文字数を指定します。
X 小文字	パスワードに含める小文字の最小文字数を指定します。
X 数字	パスワードに含める数字の最小文字数を指定します。
X 英数字以外の文字	パスワードに含める記号の最小文字数を指定します。
最大文字数：	パスワード内の最大文字数に関するルールを指定します。
X パスワードの連続文字	パスワードに含めることができる同一文字の連続の最大数を指定します。 0 を設定した場合、文字の連続使用を何回でも許可します。例えば、「passssword」 も使用できます。 1 を設定した場合、文字の連続使用を一切許可しないことを意味します。たとえば、「password」は使用できません。 2 を設定した場合、文字の連続使用を 2 回まで許可します。
X 前回のパスワードの連続文字	古いパスワードと新しいパスワードの間で共通して使用できる連続文字の最大数を指定します。 例えば、連続文字の最大数を 2 に指定し、古いパスワードが「PASSWORD」だった場合、新しいパスワードとして「WORLDMAP」は使用できません。これは、3 つの連続文字（「WOR」）が古いパスワードと新しいパスワードで共通しているためです。ただし、「WoRLDMAP」は「o」が小文字になっているため、使用できます。
全般オプション：	パスワードの有効期限に関するオプションを設定します。
パスワードの最低保持期間	パスワードが保持される最低日数を指定します。
パスワードの有効期間	パスワードの有効期限を X に指定します。パスワードの有効期限を 30 日にしたい場合は、X を 30 にします。
警告期間　X 日前から	何日前から警告メッセージを表示させるかを指定します。
☐ パスワードの失効を実施	チェックすると、パスワードの有効期限が切れると、キーファイルも有効期限切れになり、ユーザーはログインができなくなります。チェックしないと、パスワードの有効期限が切れても、ログインは可能です。ただし、新しいパスワードの入力を常に求められます。
パスワードのリカバリオプション：	
☐ パスワードのヒントを無効にする	チェックをするとパスワードヒントが無効になります。 パスワードヒントの利用は推奨されません。
セルフヘルプ パスワードのリカバリのために、ユーザーが答える必要がある最小質問数	セルフヘルプパスワードリカバリーを利用する場合に、ユーザーが答える質問数の最小値を指定します。 （注）セルフヘルプパスワードリカバリーは、日本語は使えません。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

項　目		説　明
	全ての自動パスワードのリカバリ用の答えの合計長は最低、次の通りです	セルフヘルプパスワードリカバリーを利用する場合に、ユーザーが入力する質問の答えの合計文字数の最小値を指定します。
その他のオプション：		
	キーファイル履歴に保存されるパスワードの最大数	パスワードの世代管理をおこないます。例えば 5 と設定すると、過去 5 世代の内に設定したパスワードを再利用することはできません。
	トークンベースのキーファイルのパスワードがリカバリされてから、パスワードの有効期限が切れるまでの日数	トークンを利用しているユーザーがパスワードリカバリーをおこなった場合、指定の日数だけパスワードだけでログインできるようになります。0 にすると、トークンがなければ、都度パスワードリカバリーをおこなう必要があります。

⑬ SecureDoc インストール後、万一、起動に問題が発生した場合に備え、エマージェンシーディスク（リカバリメディア）を作成します。<参照> をクリックして作成先を指定します。

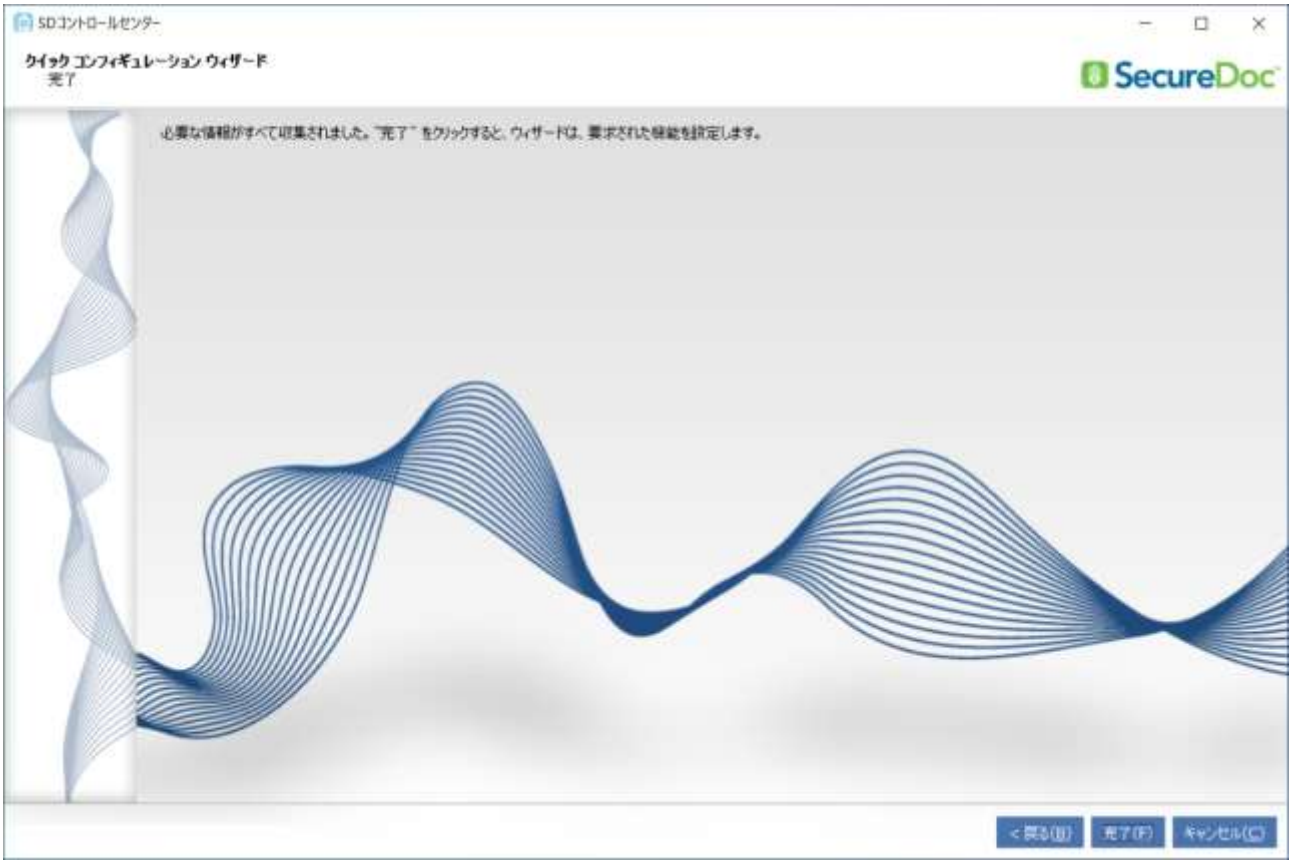
注　作成先は、これから暗号化するローカルディスクではなく、必ず USB メモリなどを選択してください。
万一、起動できない状態になった場合、ローカルディスク内に作成したエマージェンシーディスクにはアクセスません。



<次へ> をクリックします。

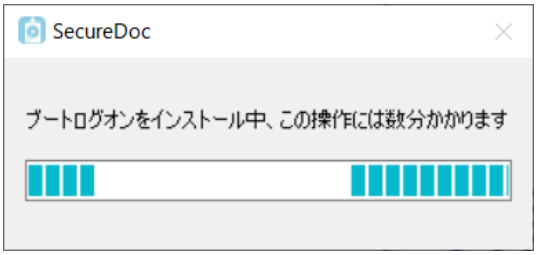
© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

⑭ <完了> をクリックします。



⑮ 暗号化を開始する確認画面が表示されるので、続行するには <はい> をクリックします。

ブートログオンプログラムのインストールが開始されます。



© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

⑯ 再起動を要求されますので、<OK> をクリックします。

注　USB メモリ等のストレージが取り付けられている場合は、意図しない暗号化を防止するために外してください。

TCG Opal ディスクでアクティベートされた場合は、シャットダウンとなります。その場合、以降の説明にあるソフトウェアによる暗号化はおこなわれません。

⑰ ブートログオンプログラムインストール後、再起動あるいは電源を投入すると、プリブート認証画面が表示されます。パスワードを入力して、エンターキーを押すか、あるいは <ログイン> をクリックします。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

⑱ Windows へのサインイン後、「クイックモード」での暗号化実施について確認されます。

SecureDoc は、ディスクをファイル単位ではなくセクタレベルで暗号化しますが、「クイックモード」を選択すると、全てのセクタではなく、使用済セクタのみを暗号化します。「クイックモード」で暗号化する場合、<はい> をクリックします。暗号化が開始されます。<いいえ> をクリックすると、全でのセクタを暗号化する「完全モード」で暗号化できます。

注　既に使用していた PC にインストールする場合は、<いいえ> をクリックし、「完全モード」で暗号化するようにしてください。

新規の PC にインストールする場合は、「クイックモード」を選択できます。使用済セクタのみを暗号化し完了としますが、使われていないセクタにデータが書き込まれると、そのセクタは自動で暗号化されます。

※　暗号化途中でも Windows をシャットダウンし電源を切ることができます。Windows を起動すると、暗号化途中から暗号化を再開します。

⑲ <いいえ> をクリックした場合、全でのセクタを暗号化する「完全モード」での暗号化実施について確認されます。

<はい> をクリックします。暗号化が開始されます。

注　特別な理由がない限り、<いいえ> をクリックしないでください。暗号化処理を実施せずに終了します。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

3. ユーザーの追加方法について

SecueDoc は、デバイスに複数のユーザーID を登録することができます。インストール時に作成したユーザーID には、全ての権限（管理者権限）を付与されています。ユーザーを追加する場合、権限を個別に設定することができます。

① SecureDoc コントロールセンターを実行します。

② トップ画面から、<キーマネージャー> を実行します。

③ [キー管理] のプルダウンメニューから [キーファイルの作成] を選択します。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

④　パスワードを設定し認証する方法と、トークンを使って認証する方法を選択できます。

ここでは、パスワードを設定し認証するキーファイルの作成方法を説明します。パスワードルールを設定するには、<パスワードルール> をクリックします。

⑤　[◎パスワードベース] を選び、<次へ> をクリックします。

⑥　キーファイルの作成画面が表示されます。

⑦　[キーファイル パス ;] のフィールドで、キーファイルを作成する場所とファイル名を入力します。

例：　C:¥SDUser¥endo.dbk

キーファイル入力後、「ユーザーID:」に移動すると、キーファイル名がユーザーID として、自動で入力されます。

パスワードルールに従い、「パスワード:」、「パスワードの再入力：」のフィールドで、パスワードを入力します。

パスワードのルールは、<パスワードルール> をクリックして設定します。

<次へ> をクリックします。

⑧　権限を設定する画面が表示されます。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

⑨　権限を設定し、<次へ> をクリックします。

権　限	説　明
☐ パスワードの変更	ユーザーは、パスワードを変更できます。
☐ プロファイルの変更	ユーザーは、プロファイルを変更できます。
☐ リムーバブルメディアの変換	ユーザーは、リムーバブルメディアを暗号化できます。
☐ キーの変更	ユーザーは、鍵を生成、削除、およびインポートできます。
☐ プロファイルの選択	ユーザーは、プロファイルを選択できます
☐ ハードディスクの変換	ユーザーは、ディスクの暗号化/復号化をおこなえます
☐ キーのエクスポートと表示	ユーザーは、鍵を操作できます。たとえば、キーファイルをエクスポートすることや、鍵を他のキーファイルにエクスポートしたりできます。
☐ ディスクのインテグリティチェック	ディスクの整合性チェックが失敗した場合でも、ユーザーは作業を続行できます。デバイスを検査し、ディスクの整合性のために新しい署名を再作成します。
☐ トランザクションログの閲覧	ユーザーは、Audit Log を見ることができます。
☐ エマージェンシーディスクの作成	ユーザーは、エマージェンシーディスクを作成できます。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

⑩　次の画面が表示されます。

ディスクを暗号化した鍵をキーファイルに含める必要があるので、<インポート> をクリックします。

⑪　キーのインポート画面が表示されます。

[キーファイル：] のフィールドで、インストール時に作成したキーファイルを選択します。

　初期設定の保存先フォルダ：C:¥Program Files¥WinMagic¥SecureDoc-NT¥UserData¥*****.dbk

[パスワード：] のフィールドで、キーファイルに設定されているパスワードを入力します。

<ログイン> をクリックします。

⑫　[キーの選択：] に、鍵が表示されるので、それを選択し、<キーのインポート> をクリックします。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

⑬　次の画面のように、鍵をインポートできたら、<完了> をクリックします。

⑭　次の画面が表示されるので、ホームアイコンをクリックします。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

⑮　コントロールセンターを実行します。

⑯　インストール時に設定したユーザーID とパスワードを入力し、エンターキーを押すか、<ログイン> をクリックします。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

⑰ [ブートコントロール] のプルダウンメニューから、[ユーザー管理] を選択します。
<ユーザーの追加> をクリックします。

⑱ [キーファイル：]のフィールドで、先に作成したキーファイルを指定します。<追加> をクリックします。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.

⑲　次の画面が表示されます。

下の例では、ユーザー番号の 2 にユーザーが追加されています。

右上の X をクリックして、SecureDoc コントロールセンターを終了します。

⑳　再起動し、追加したユーザーID でログインできることを確認してください。

SecureDoc インストール後の各設定項目などについては「SecureDoc for Windows Version 9.1 リファレンスマニュアル」をご参照ください。

© 2024 WinMagic Inc. All Rights Reserved.